

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

平成25年9月の「安らぎ通信」

密集市街地 防災対策急ぐ — 危険地域 近畿、全国の半分

大阪市 延焼防止へ広場 神戸市 建て替えに特例

不燃化対策、東京に後れ 税減免制度など必要



近畿の自治体が、地震による建物倒壊や火災の恐れがある密集市街地の防災対策を強化します。国土交通省が「地震などに著しく危険な密集市街地」に挙げた地域は近畿で2, 858ヘクタールと、全国の半分以上を占めます。

同省は、危険な密集市街地が奈良県を除く近畿に32地区あると発表しました。大阪府は計2, 248ヘクタールと全国の都道府県で最大です。

大阪府や大阪市など密集地を抱える7市は、整備アクションプログラムを作る予定です。

(2013年8月2日 日本経済新聞記事から抜粋)

地震保険へ加入広がる — 10年で9割増、震災影響



地震や津波による家屋の損害に備える地震保険への加入が伸びています。

損害保険料率算出機構は、2012年度の家向け火災保険の新規契約のうち、地震保険にも入る割合を示す付帯率が、前の年度よりも2.8ポイント高い56.5%だったと発表しました。2012年度末の保有契約件数は1500万件を突破し、この10年間で約9割増えました。契約件数の増加は21年連続。付帯率の上昇は10年連続。

(2013年8月24日 日本経済新聞記事から抜粋)

あなたに価値あるホームページを yamachuwood.com

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781

耐震改修いくらかかる？

自治体補助 うまく活用



耐震改修工事の主な流れ

① 耐震相談

自治体の窓口へ行く。補助制度を利用するなら伝える。業者を紹介してくれるケースも。

② 耐震診断

10万～20万円程度、現地調査は半日、すべてで2～3週間程度

予備調査→現地調査→耐震性能の評価の順で実施する。

建物を建てたときの図面が必要。紛失した時は復元する。

③ 耐震診断結果

評点1.5以上 . . . 倒壊しない

評点1.0以上1.5未満 . . . 一応倒壊しない

評点0.7以上1.0未満 . . . 倒壊する可能性がある

評点0.7未満 . . . 倒壊する可能性が高い

④ 補強設計

30万円程度、すべてで2～3週間程度

耐震診断の結果に基づき改修計画を立て、補強の設計をする。

診断業者が設計する場合も。予算や工期などの要望を伝える。

⑤ 耐震改修工事費の見積もりを出す

見積もりは複数の業者に依頼する。あいまいな説明や契約をせかす業者とはけいやくしない。

⑥ 耐震改修工事

約150～200万円、1週間から1か月程度

工事中の写真を撮影するよう依頼する。工事完了後、固定資産税の減額など優遇措置を受けられる場合があるので手続きをする。

自治体の耐震診断・改修工事の補助制度

大阪市 : 耐震診断費用の90% (上限45,000円) など。

評点を1.0以上にすると耐震改修などは費用の2分の1 (上限100万円)

(2013年8月28日 日本経済新聞記事から抜粋)

あなたに価値あるホームページを yamachuwood.com

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 3

免震建物に被害 — 東日本大震災より 4 割強い揺れ



防災科学技術研究所は、地震の揺れを抑える免震装置を組み入れた建物の耐震性を試す実験を公開しました。

東日本大震災の揺れを 4 割強めた地震波を再現したところ、建物が免震装置を囲むコンクリート壁に 2 回にわたり衝突。特に強い揺れでは免震建物でも新たな対策が必要なことが浮き彫りになりました。

(2013年8月27日 日本経済新聞記事から抜粋)

あなたに価値あるホームページを yamachuwood.com

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島 3-18-9 TEL 06-6552-0781